

器51 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 吸引チューブ 16779000

ファイコンチューブ

再使用禁止

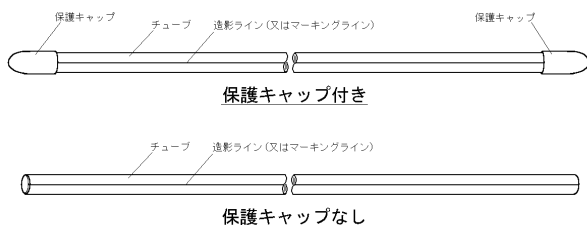
【禁忌・禁止】

1. 使用方法

- 1) 再使用禁止
- 2) 薬液による滅菌は行わないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 体液等の吸引回路や滲出液等の排液回路用の接続チューブであって、3種類の硬さ(標準:SH型、ソフト:SS型、ハード:HH型)がある。
2. 本品は表1.に示す引張り強度を有している。



〈表1.チューブの引張り強度〉

| タイプ | 呼称寸法 | 引張り強度 |
|-----|----------------------------|----------------|
| SH | No.00 | 2.45N(0.25kgf) |
| | No.0 | 4.9N(0.5kgf) |
| | No.1 | 9.8N(1.0kgf) |
| | No.2 | 19.6N(2.0kgf) |
| | No.3~4 | 29.4N(3.0kgf) |
| SS | No.5~10 | 49.0N(5.0kgf) |
| | No.4 | 19.6N(2.0kgf) |
| | No.5 | 29.4N(3.0kgf) |
| HH | No.6~7 | 49.0N(5.0kgf) |
| | No.5~8 No.6-10、No.7-9.5 | 49.0N(5.0kgf) |

〈材質〉

| 各部の名称 | 原材料 |
|--------|---------|
| チューブ | シリコンゴム |
| 保護キャップ | ポリ塩化ビニル |

本品はラテックスフリーである。

【使用目的又は効果】

体液等の吸引回路や滲出液等の排液回路の接続用チューブとして使用する。

【使用方法等】

1. 操作方法

本品はディスポーザブル製品であるので、一回限りの使用のみで再使用できない。

2. 一般的使用方法

- 1) 配管する各種機器類の接続部の外径を確認し、適切な寸法(内径)のチューブを選択する。
- 2) 配管等に必要な長さを確認し、包装袋よりチューブ(必要により切断し)を取り出す。
- 3) 必要に応じて、チューブの滅菌処理を行う。
[滅菌方法の一例]
◇方法: 高圧蒸気法(オートクレーブ)
◇条件: 121°C/20分間
- 4) 接続する機器類の配管を行う。

3. 使用方法等に関連する使用上の注意

- 1) 保護キャップは、配管時には使用しない。廃棄若しくは使用しないチューブの保護キャップとすること。
- 2) 滅菌の方法に適した包材を使用すること。[本品の被包は滅菌用の包材ではない]

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

水濡れに注意し、高温、多湿な場所及び直射日光を避けて、清潔な状態で保管すること。

2. 有効期間

- 1) 開封前の製品の使用期限は製品ラベルに記載。[自己認証(当社データ)による]
- 2) 開封後は、できるだけ速やかに使用すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 富士システムズ株式会社
TEL 03-5689-1927